

おふろそうじ

一宮東部小・5 伊藤 玄

ふろそうじは好きじゃない  
でも わが家では ぼくの仕事

さあ、やるか

ズボンのすそをめくって

上着のそでをまくって

ふろ用スリッパをはいて

うええ カビが生えている

はだしでやろう

つるつとすべって転ばないように

まずは浴そうに入って内側から

せんざいをシューシューとふきかける

スポンジでキュツキュツとこする

ざらざらの湯あかは家族六人分のごこれだ

何度もこするとつるつるになる

ああ すっきり

次は浴そうから出てあらい場だ

たなの上の石けん類は

きちんとそろえてならべよう

鏡は すがたがよく写るように

ぴかぴかにみがいとおこう

せん面器とふろのいすも

あわを立たせてきれいにあらう

ゆかの上はカビが生えないように

すみからすみまで力を入れてあらう

かみの毛が手に付いた

わあ いやだ

石けんで手はべたべた

シャワールの口が自分に向いていて

じゃ口をひねったとたん

水をかぶってびしょぬれになった

それはこれまでに何回もある

あれには はらが立つ

最後は はい水こうにつまった

かみの毛とごみを

すてて終りよう

おふろがきれいになって

ああ 気持ちいい

やりきったことに満足だ

今日は家族でいっしょに入ろうかな

めんどろいでいやだと思っても

だれかがやらなくてはならないこと  
だからやるぞ

父母は毎日仕事でいそがしい

ぼくは長男

小さな姉妹もいる

家族の一員として

今ぼくがやれることは

おふろそうじかな